

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型ケアベースにのこ (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2025年12月23日		～	2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～	2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方々と関わる機会を設けている	外出や地域の方々が参加できるイベント(にのこ商店など)をおこなっている 町内会に入り、会議場所の提供や町内の清掃活動に参加している 地域の社会福祉協議会の敬老会のお手伝いをしている	地域の行事(祭りや学校祭など)に参加できるよう計画を立て、もっと地域の方々と関わりを深めていく
2	フェイスブックやInstagramなどのSNSに活動の様子を週1回以上掲載している また、ホームページからフェイスブックへ移動できるようリンクを貼っている	写真だけではなく動画の掲載や生配信などを行い、多くの方に活動の様子を見てもらえるよう工夫している ホームページのQRコードを作成し、配布物等に表示してPRしている	YouTubeチャンネルもあるがなかなか活用できていない 普段の活動の様子とは違う内容で更新できるように進めていきたい
3	個別支援計画のほか専門的支援実施計画を作成し、理学療法士や経験豊富な保育士による専門的な支援を実施している	個々の特性に配慮し、個別の活動と集団活動を組み合わせ、成長を促すことができるよう支援を実施している	スタッフが長く勤務できるようワークライフバランスに配慮しながら、研修等を通して経験豊富な人材育成をさらに進めていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流が少ない	近隣の学校や保育園等への働きかけが足りない	楽器演奏やパネルシアターなど地域のこどもと一緒に楽しめる活動を日頃から取り入れていく その内容を広報紙の配布や交流会の申し込みなどで積極的に働きかけていく
2	保護者間の交流が少ない	年に数回、平日の日中に利用児が体験している活動を保護者にも案内して行っているが、内容、実施日、回数などニーズに添えていない可能性がある	保護者アンケートを実施し、ニーズの把握をしっかりと行い、保護者間の交流をさらに進めていきたい
3	事故防止・防犯等のマニュアル類の周知 避難訓練の実施状況等の広報	作成しているマニュアル類の周知が足りていない 避難訓練も実施しているが、内容や実施結果がご家族に共有されていない	マニュアル類の周知方法の検討が必要 ご家族向けの広報や職員の学びを深める研修を企画していく予定

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型ケアベースにのこ (児童発達支援)			公表日	2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準は満たしているものの送迎時間などスタッフが少なくなる時間帯があり、安全にお預かりできるよう工夫しながら対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			大切なことなので、全員が参画できるように今後も工夫していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		当面は第三者評価はこのままで、ご家族様の評価、そして税理士・労務士等の助言をいただきながら業務改善につなげていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			昨年2月にホームページに公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画のほかPTや経験豊富な保育士による専門的支援計画も作成し、より専門的な支援を実施できるよう進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			フォーマルなツールに該当しない場合もあり、現在進めている視線入力やスイッチ活動をコミュニケーションツールとしてアセスメントに活かすことも検討中。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		昨年、個別支援計画の作成手順を見直し、盛り込む項目を増やしている。	今後とも内容を検討し、必要に応じて改善を進めていく予定。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				該当せず
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				該当せず
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	イベントの案内を多方面に配布して施設外の参加者を募っている。	今年は新しい形での交流活動も考えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		成年後見についての研修会や、家族交流のためのイベントやワークショップを開催し情報交換を行った。	今年もご家族のニーズを確認しながら、家族参加の研修会を実施したいと考えている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族参加型のイベントを実施し、交流の機会を設けている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等での情報発信を定期的に行い、好評を得ている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉を発することが難しいこどもも多いので、スイッチや視線入力を使って意思疎通が図れるよう取り組んでいる。	今後もICTを活用した色々な働きかけをしたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		様々な災害を想定し、定期的に避難訓練を実施している。	マニュアルは作成しているが、その周知方法の検討が必要。ご家族向けの広報や職員の学びを深める研修を企画していく予定。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型ケアベースにのこ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月23日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方々と関わる機会を設けている	外出や地域の方々が参加できるイベント(にのこ商店など)をおこなっている 町内会に入り、会議場所の提供や町内の清掃活動に参加している 地域の社会福祉協議会の敬老会のお手伝いをしている	地域の行事(祭りや学校祭など)に参加できるよう計画を立て、もっと地域の方々と関わりを深めていく
2	フェイスブックやInstagramなどのSNSに活動の様子を週1回以上掲載している また、ホームページからフェイスブックへ移動できるようリンクを貼っている	写真だけではなく動画の掲載や生配信などを行い、多くの方に活動の様子を見てもらえるよう工夫している ホームページのQRコードを作成し、配布物等に表示してPRしている	YouTubeチャンネルもあるがなかなか活用できていない 普段の活動の様子とは違う内容で更新できるように進めていきたい
3	個別支援計画のほか専門的支援実施計画を作成し、理学療法士や経験豊富な保育士による専門的な支援を実施している	個々の特性に配慮し、個別の活動と集団活動を組み合わせ、成長を促すことができるよう支援を実施している	スタッフが長く勤務できるようワークライフバランスに配慮しながら、研修等を通して経験豊富な人材育成をさらに進めていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流が少ない	近隣の学校や保育園等への働きかけが足りない	楽器演奏やパネルシアターなど地域のこどもと一緒に楽しめる活動を日頃から取り入れていく その内容を広報紙の配布や交流会の申し込みなどで積極的に働きかけていく
2	保護者間の交流が少ない	年に数回、平日の日中に利用児が体験している活動を保護者にも案内して行っているが、内容、実施日、回数などニーズに添えていない可能性がある	保護者アンケートを実施し、ニーズの把握をしっかりと行い、保護者間の交流をさらに進めていきたい
3	事故防止・防犯等のマニュアル類の周知 避難訓練の実施状況等の広報	作成しているマニュアル類の周知が足りていない 避難訓練も実施しているが、内容や実施結果がご家族に共有されていない	マニュアル類の周知方法の検討が必要 ご家族向けの広報や職員の学びを深める研修を企画していく予定

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型ケアベースにのこ (放課後等デイサービス)			公表日	2026年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準は満たしているものの送迎時間などスタッフが少ない時間帯があり、安全にお預かりできるよう工夫しながら対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○			大切なことなので、全員が参画できるように今後も工夫していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		当面は第三者評価はこのままで、ご家族様の評価、そして税理士・労務士等の助言をいただきながら業務改善につなげていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			昨年2月にホームページに公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画のほかPTや経験豊富な保育士による専門的支援計画も作成し、より専門的な支援を実施できるよう進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			フォーマルなツールに該当しない場合もあり、現在進めている視察入力やスイッチ活動をコミュニケーションツールとしてアセスメントに活かすことも検討中。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		昨年、個別支援計画の作成手順を見直し、盛り込む項目を増やしている。	今後とも内容を検討し、必要に応じて改善を進めていく予定。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	イベントの案内を多方面に配布して施設外の参加者を募っている。	今年は新しい形での交流活動も考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		成年後見についての研修会や、家族交流のためのイベントやワークショップを開催し情報交換を行った。	今年もご家族のニーズを確認しながら、家族参加の研修会を実施したいと考えている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族参加型のイベントを実施し、交流の機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等での情報発信を定期的に行い、好評を得ている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉が発することが難しい子どもも多いので、スイッチや視線入力を使って意思疎通が図れるよう取り組んでいる。	今後もICTを活用した色々な働きかけをしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		様々な災害を想定し、定期的に避難訓練を実施している。	マニュアルは作成しているが、その周知方法の検討が必要。ご家族向けの広報や職員の学びを深める研修を企画していく予定。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				